

株式会社サンセイランドイック

2021年12月期決算短信補足資料

2022年2月14日



- 売上高は前年及び計画を下回るものの、底地の販売割合が増加し底地、居抜き、所有権いずれにおいても利益率が計画を上回ったことから、各利益は前年及び計画を上回り、業績を上方修正
- 2021年12月期期末配当予想を25円から1円増配し、26円に修正するとともに2022年12月期期末配当予想は1円増配の27円とし、9期連続の増配を予定
- 当社では売上高ではなく利益額を重視しており、足元の利益水準は着実に回復傾向にある
- 建築事業は前年及び計画を下回る

業績動向 (連結)



(単位:百万円)	19/12	20/12	21/12期		
	実績	実績	計画	実績	差異
売上高	18,020	17,774	18,385	16,836	△1,549
売上総利益	5,118	3,986	4,368	4,368	△0
販管費	3,257	3,138	3,449	3,250	△198
営業利益	1,860	847	919	1,117	+198
経常利益	1,758	709	762	999	+237
特別利益	—	32	—	3	+3
特別損失	—	29	—	—	—
当期純利益	1,158	357	505	609	+104

- 売上高
前年同期比△5.3%
- 売上総利益
前年同期比+9.6%
- 販管費
前年同期比+3.6%
- 営業利益
前年同期比+31.9%
- 経常利益
前年同期比+40.9%
- 当期純利益
前年同期比+70.5%

業績動向 (単体)



(単位:百万円)	19/12	20/12	21/12期		
	実績	実績	計画	実績	差異
売上高	16,266	16,111	17,706	15,529	△2,176
売上総利益	4,879	3,727	4,263	4,274	+11
販管費	2,981	2,881	3,315	3,011	△303
営業利益	1,898	845	948	1,263	+315
経常利益	1,752	671	762	993	+230
特別利益	—	31	—	3	+3
特別損失	—	—	—	—	—
当期純利益	1,172	177	505	603	+97

- 売上高
前年同期比△3.6%
- 売上総利益
前年同期比+14.7%
- 販管費
前年同期比+4.5%
- 営業利益
前年同期比+49.4%
- 経常利益
前年同期比+48.0%
- 当期純利益
前年同期比+240.3%

連結貸借対照表サマリー



(単位:百万円)

	20/12期	21/12期		
	金額	金額	前期末比	増減率
現金及び預金	4,329	5,360	+1,030	+23.8%
販売用不動産	14,424	13,301	△1,123	△7.8%
有利子負債	8,341	8,107	△234	△2.8%
純資産	10,066	10,301	+235	+2.3%
総資産	20,070	20,050	△20	△0.1%
自己資本比率	50.1%	51.4%	+1.3pt	—

■ 現金及び預金
主に一部保有物件の積極的な資金化により増加

■ 販売用不動産
主に一部保有物件の積極的な資金化により前期末比で減少

■ 有利子負債
物件の仕入により短期借入金
は増加した一方、長期借入金
が減少

事業別販売実績



(単位:百万円)

	19/12	20/12	21/12期		
	実績	実績	計画	実績	計画比
不動産 販売事業	16,266	16,111	16,678	15,529	△6.9%
底地	6,697	6,326	8,062	8,208	+1.8%
居抜き	7,399	7,050	7,356	6,083	△17.3%
所有権	1,703	2,271	849	864	+1.8%
その他	466	463	410	373	△9.0%
建築事業	1,753	1,662	1,706	1,306	△23.5%

■底地

売上は計画を上回り、
前年水準を大幅に上回る

■居抜き

売上は前年及び計画を
下回るものの、利益は計画
を上回る

■所有権

概ね計画通りとなった

■建築事業

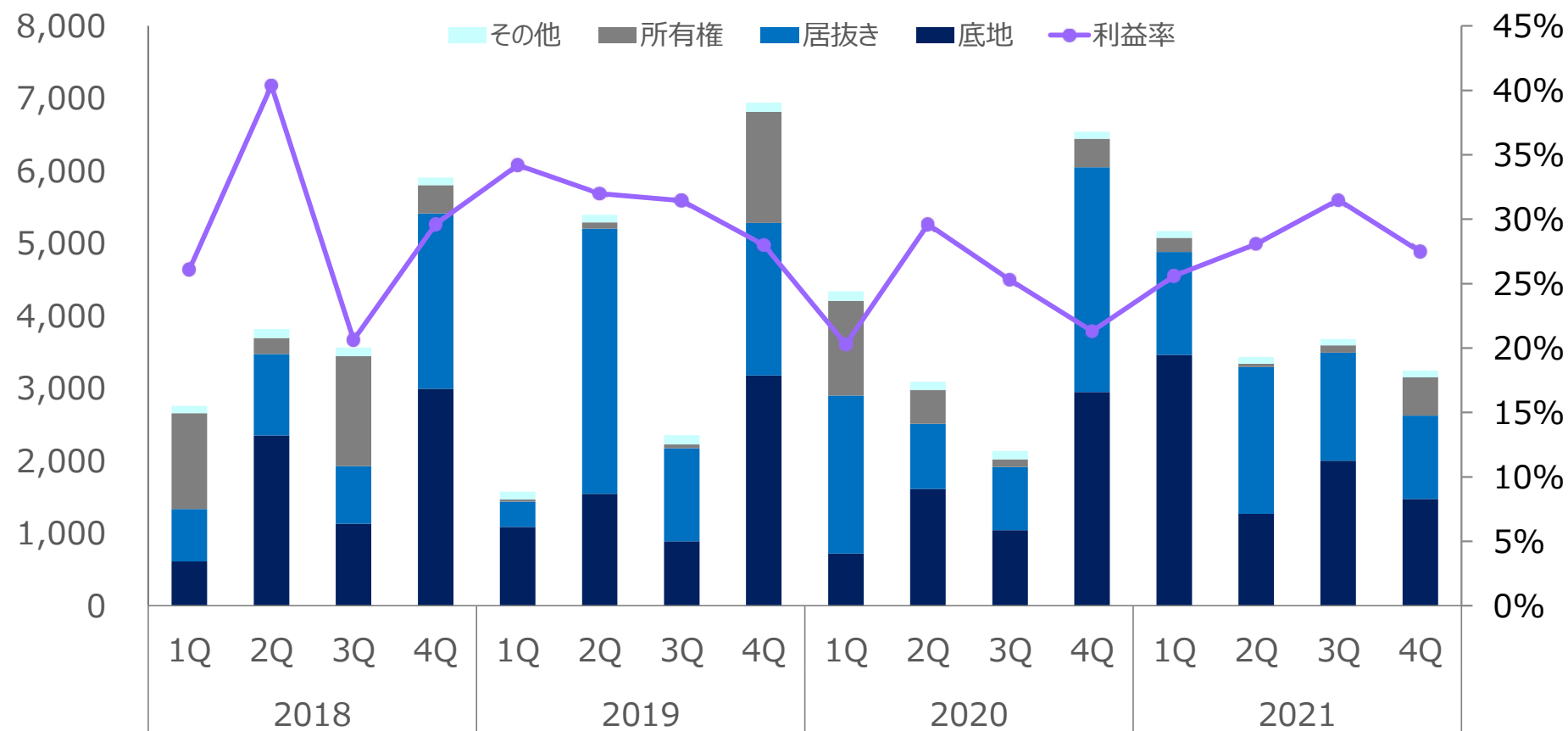
売上高 前年同期比
△21.4%

不動産販売事業 四半期推移表



これまで売上は4Qに集中する傾向が強かったが、2021年12月期においては売上の平準化が進む

売上高(百万円)



事業別仕入・受注実績



(単位:百万円)

	19/12	20/12	21/12期	
	実績	実績	実績	前年同期比
不動産 販売事業	13,177	13,290	10,118	△23.9%
底地	5,094	4,988	4,474	△10.3%
居抜き	6,303	6,593	4,689	△28.9%
所有権	1,779	1,708	955	△44.1%
建築事業 (受注高)	2,158	1,095	1,379	+26.0%

■不動産販売事業

年間仕入計画138億円

新型コロナウイルスの影響により、計画は大幅に未達となるが、2022年分の販売物件は順調に積みあがっている

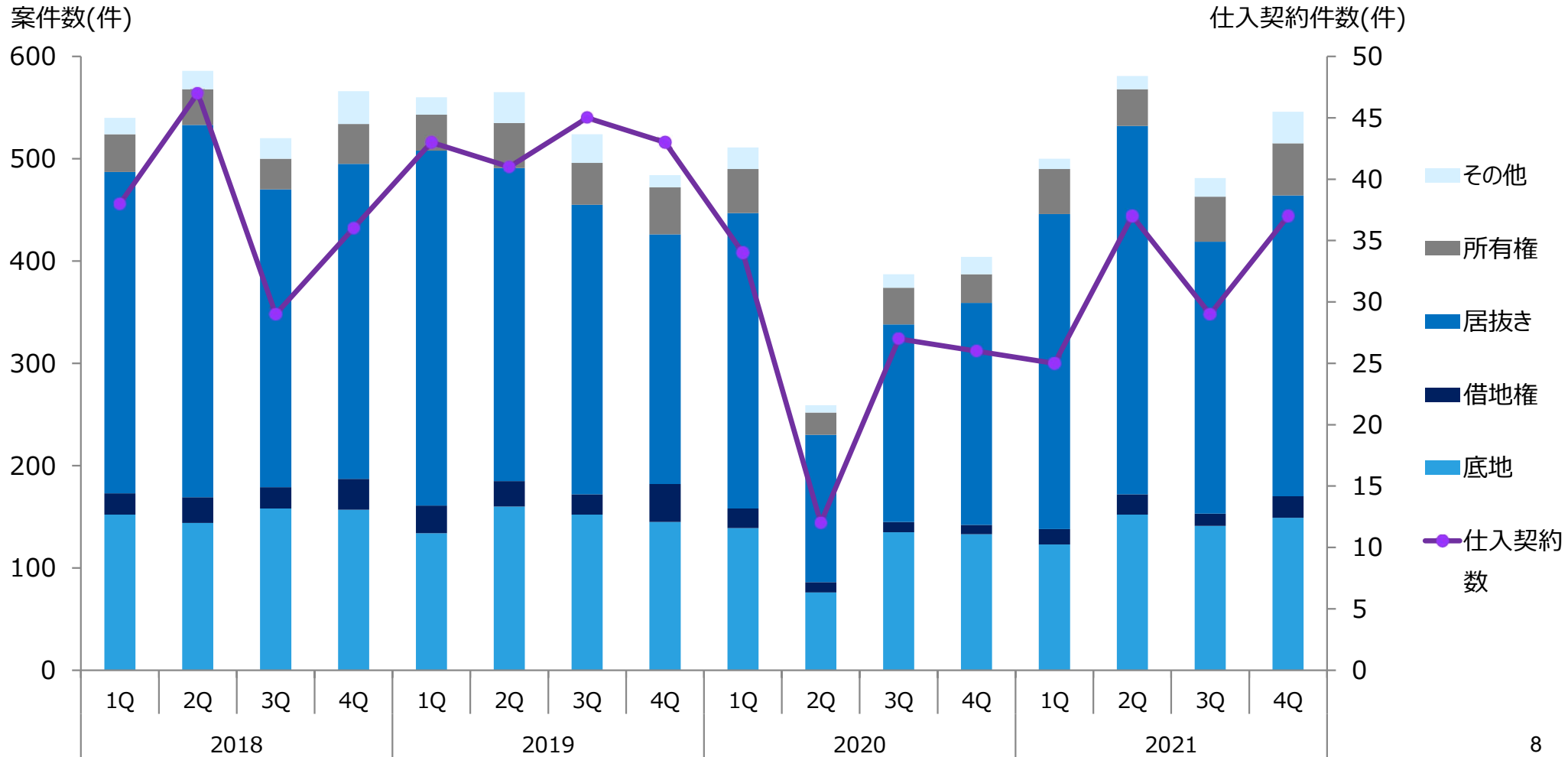
■建築事業

新型コロナウイルス感染拡大やウッドショックの影響はあったものの、受注高は徐々に回復

案件数・仕入契約件数動向



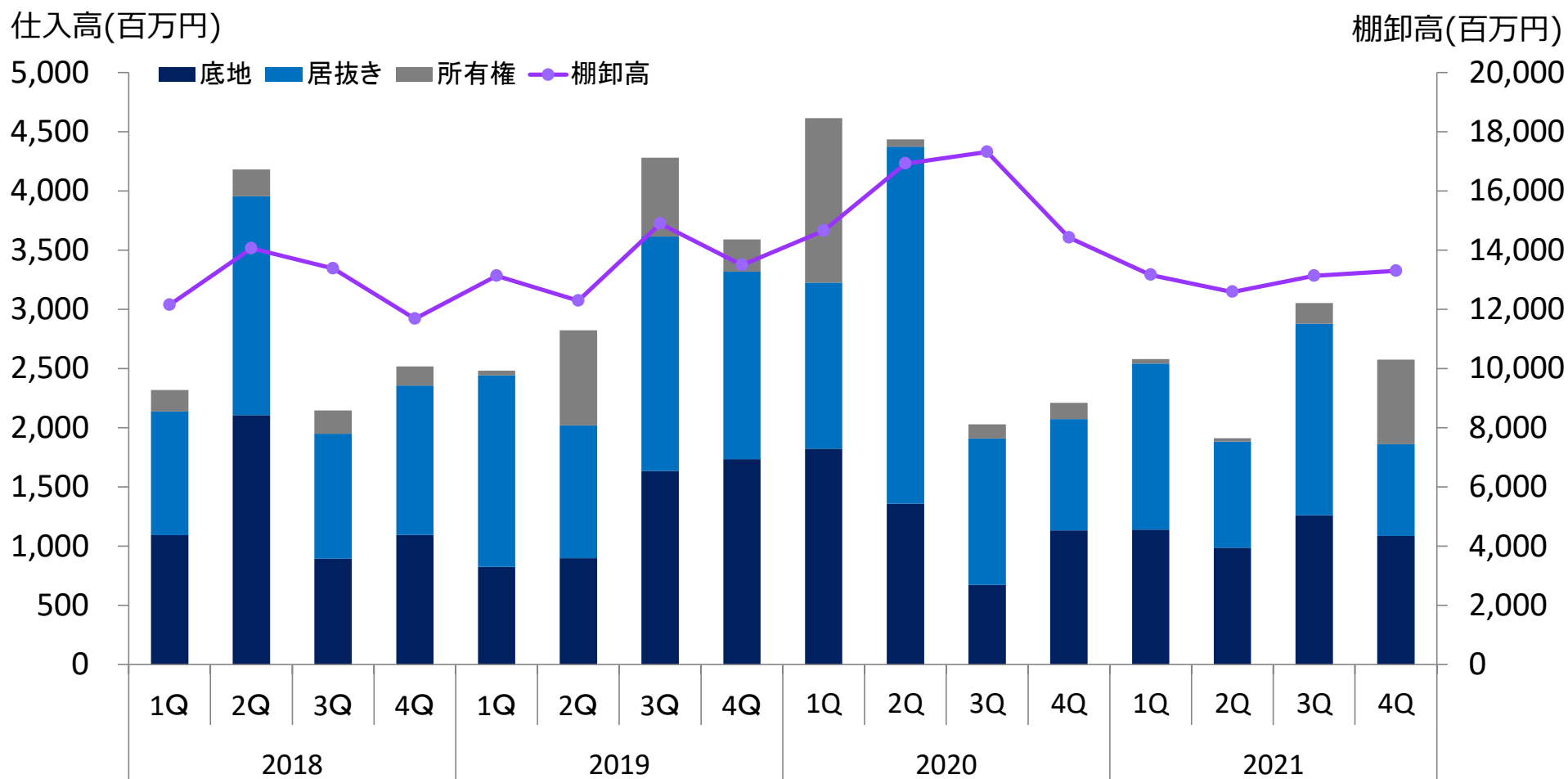
案件数及び仕入契約件数は、2020年3Q以降は回復傾向にあり、足元ではコロナ前の水準まで回復



仕入高・棚卸高推移表



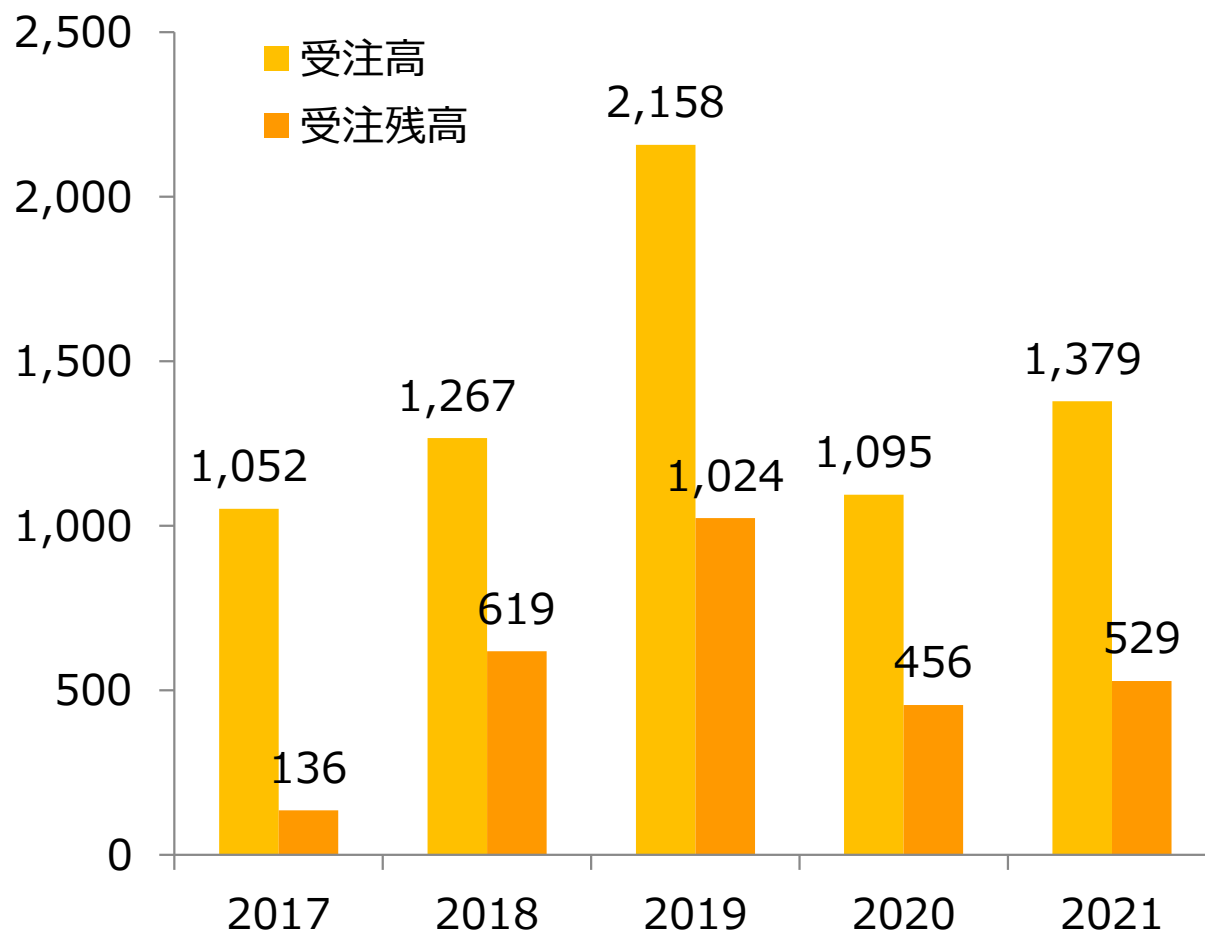
2020年1Q・2Qに居抜き及び所有権で大型物件の仕入があったことから、前期比では減少
 新型コロナウイルスの影響により仕入のリードタイムが伸びる物件も一部発生したが、足元の仕入は徐々に回復



建築事業受注高・受注残高推移



受注高(百万円)



- 建材価格の高騰や、すでに着工していたRC物件において当初想定していた原価を大幅に超過したことなどから、売上高、利益額は計画を下回る
- 営業強化や原価管理の強化に向けた取組みは着実に進捗してきているが、黒字化は未達

2022年12月期 業績予想



2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）連結業績予想

(単位:百万円)

	22/12期	増減率
売上高	18,235	+8.3%
営業利益	1,301	+16.4%
経常利益	1,142	+14.3%
当期純利益	754	+23.8%
EPS(円)	91.52	+24.4%
配当(円)	27	—

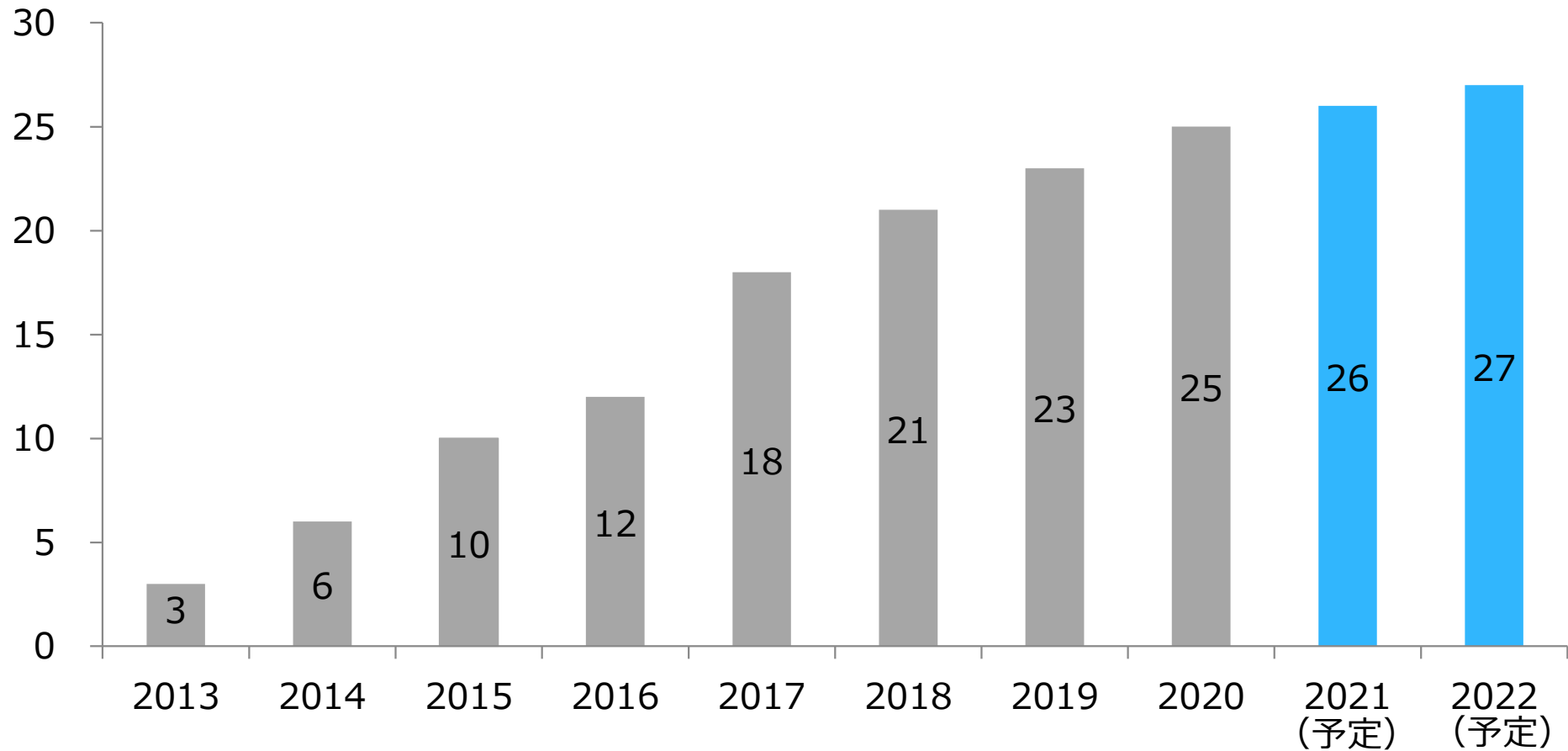
- 不動産販売事業は2021年を上回る売上・利益を計画
建築事業では黒字化を計画
- 配当は1円増配し、27円を予定しており、9期連続の増配を見込む

株主還元（配当の推移）



2021年12月期末の配当予想を25円から26円に修正。
2022年12月期末は27円への増配を予定しており、9期連続増配を見込む

配当額（円）



■この資料に記載されている、当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定及び判断などのうち、すでに確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。

■将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。これら業績見通しに 過度に依存しないようお願いいたします。

■本資料に記載されたデータは、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

《問合せ先》
株式会社サンセイランディック 経営企画室
TEL : 03-5252-7511
E-mail : keiki@sansei-l.co.jp

